

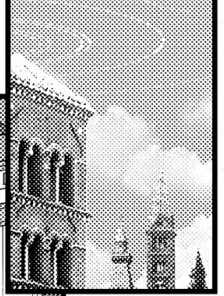
Horizontal World

秘
書

セイアヤク

秘
書

{ R-18 }
for Adult Only



さて、先生――

いなかには
午睡には
寝苦しい時節だが、

君の来訪が
意義のある時間
してくれたらしい

ギィ

再び――
その意義を確認
したくなった際は、

また、
私の呼びかけに
応じてくれるかい？

もちろん

じゃあ、
またね――

……午睡？

午睡……
午睡……ね……

いや……
いくら名目の
こととはいえ、

よく言うよ、
セイア

キュルルルルル

パロッ！

トリニティ総合学園/ティーパーティー

百合園 セイア

一睡だって
していなかったくせに――

セイア……ッ
もう、大丈夫……!

充分
だから……ッ

う……ッ

……そうは
言っても……

なに、私には
よく聞こえているよ

♡♡♡♡

♡♡♡♡

……私の膣内に
2回、

おまけに
脚で1回……

胸で1回、

口腔^{クチ}に1回、
手で1回、

計6回の
放出を以てしても
なお残り――

解放を待ちわびる
種子たちの
嘆願がね

だが、
その悲願も漸く、
達せられるときが
来たようだ――

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡



儼く消えゆく
寸前であつた
彼女の神秘は

一時は
運命の嵐の前に

私とセイアは
恋仲だ

旧き友たちとの
語らいと

新たな友たちとの
触れ合いで

新たな輝きを
灯していった

それは
先生としても
恋人としても、

これも私の
務めだからね

気にする
事はないさ

最後まで
いっしょに……

喜ばしいこと
この上ない――

先生……

私は君に
焦がれている

そして
君もまた
同様に――

なんて、

そうあってほしいと
願うのは

「面倒くさい恋人」……
というやつかな？

そんなこと
ないよ

私も
同じ気持ちだから

そうかい？
フフフ……

ときに
先生……

……コレを
憶えているかい？

！
それは……

私がうっかり
署名してしまった
(セイヤに騙されて)

白紙の
伝票……？

如何にも

コレがある限り
私は、

なんでも先生に
要求できるという
ワケだが、

キョッポッ

でもその輝き
少し、

こういった
趣きも、

であれば
そう――

悪くは
ないだろう……？

変な光
放ってない……？

はい？

SEIA TICKET

左記の者は、この券の発行者である
百合園セイヤの自室以外での吐精を禁じる。

左記の者は、この券の発行者である
百合園セイヤの自室以外での吐精を禁じる。



い...いやいや

待って...
理解が追いつかないよ

なんで
そんなコトを...?

こうすれば
用が無くとも
会いに来るだろう?

そりゃあね!!!

でも

こういうのは
日々溜まって
いくもので...

高橋は...?

いつでも来て
好きになるときに
吐き出して
いけばいい

勿論私も
遵守するとも

そういう
問題じゃ...!

ていうか
正直なところ
こっさり処理しても
わからな

わかるとも



未来を識る事を
止め、

現在に期待できる
私になら

おそらく...

セイアの
新しく得た能力

便利すぎ!

なにより
私はずっとと視てきた

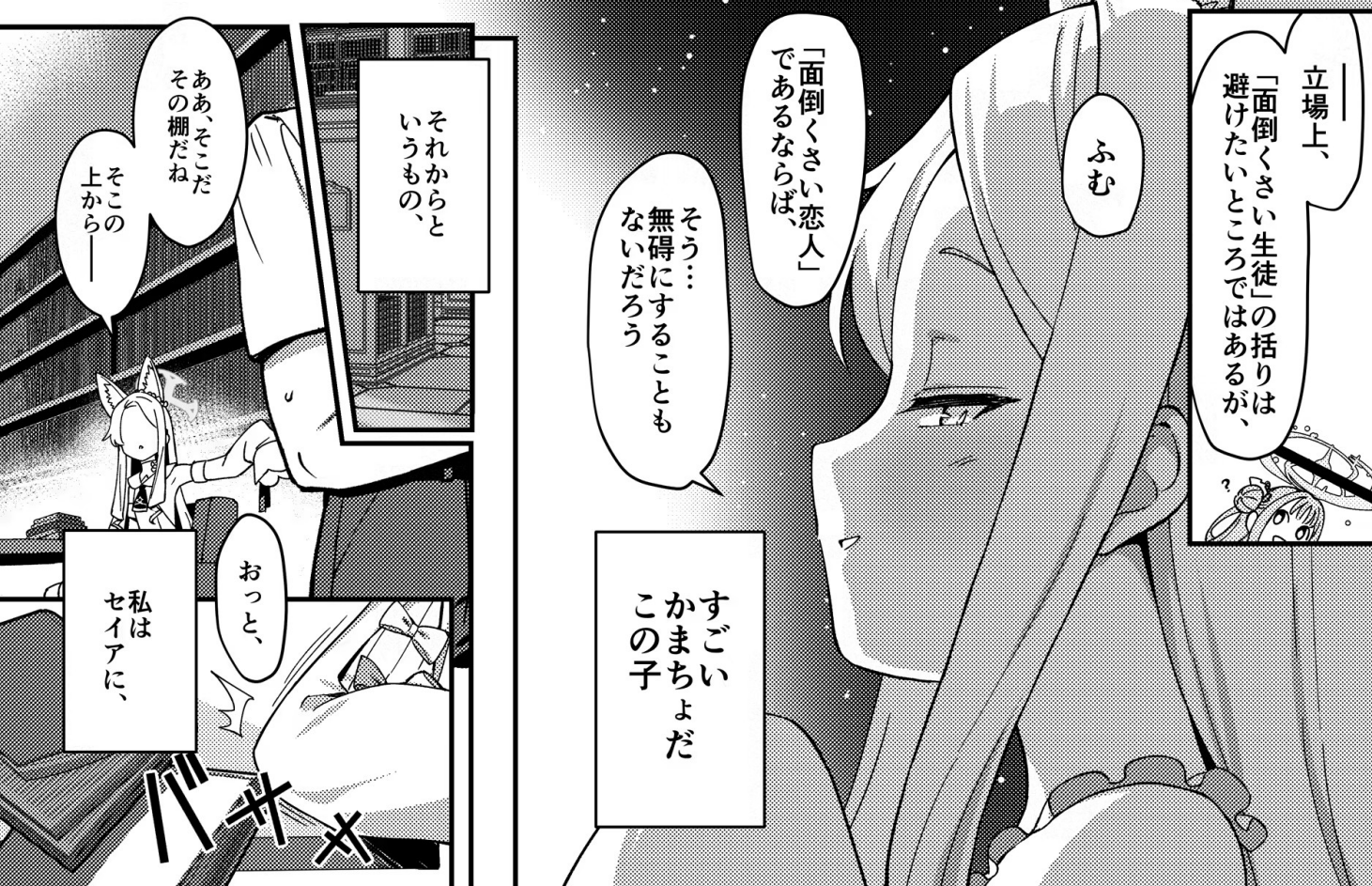
そんな君が
この約束を
破るはずがない

違うかい?

『契約』『責任』
それらを武器とし闘う
大人の君の姿を

誰よりも...
近い場所からね

.....
知らなかった



立場上、

「面倒くさい生徒」の括りは、
避けたいところではあるが、

ふむ

「面倒くさい恋人」
であるならば、

そう...
無碍にすることも
ないだろう

すごい
かまちょだ
この子

それからと
いうもの、

ああ、そこだ
その棚だね

その上から

おっと、

私は
セイアに、



私と
したことが
トリニティが誇る
観智の欠片達を

このような



……?
……っ!



……やれやれ
あの場所が
私の自室から
ほど近い

トリニティの
敷地内で
なければ
んっ♡



……♡

欲求の一つを
コントロール
されている

とはいえ……
私も気をつけよう

屈むたびに
胸を凌辱されて
しまつては……

服の替えが
追いつかないからね……

どうするつもり
だったんだい……?

ぜ……絶対……
見せつけてる
……!!

……彼女の悪い
ところはない

おや
先生……



手が
止まっているよう
……まったく……

……行為を
禁じるのではなく、

あくまで
「射精」

座り心地だけ
良くなっても
仕方がないがね…

さっさと
片付けなければ
時間という
連綿たる
流れにおいて

その回避は
神がかり的な
セイアの勘で、

私と過ごす一瞬すら
失っている—
いうことを

—さて、
そろそろ…

何度でも自在に
成し遂げる
ことができる

何度でも
何度でも
—

私はお暇
させてもらおう
この装いの感想も
「訊けた」ことだしね

翠帳紅闇の
まぐわいを
堪能する

そうして
煮詰まった
恋人の情欲を

さながら
上等な美酒のように

詰まるどころ
あの誓約は

刻みこまれて
しまったね…

そんな
彼女の筋書きを
実現するための
ものだった

君の、
欲望のカタチを

違う!!!

セイアとは
もっとうこう…

こんな、
爛れてない…

ふつうの
お付き合いの
つもりでえ…!

でも…

恒常的な
禁欲に加えて、

不意の
えっちアピールに
鬼の寸止め…

そんなの
好きな子に
やられたんじや

情緒も理性も
ボロボロだ…っ

仕事に缶詰で
しばらくトリニティに
行けていないいま…

セイア
彼女に会って
はたして
正気でいられるか…

…こんな状態で…
ミカ主導の…

ティーパーティー…
ナギサの慰安バカンスに
臨んでいいのだろうか…?

このバカンスは
ミカの思惑に反して
波乱の連続だった

何も知らない
ナギサを
心配させまいと、

波のように
押し寄せる苦難に
立ち向かうミカ

そんな彼女を
バックアップする
ハスミとイチカ

そして
唐突なエロ自撮りに
翻弄される私

手のかかる友人が世話になっているご褒美

果てには、
別荘を失う(2回)
という憂き目に
遭うものの…

ミカの
友を想う心は、

彼女たちの絆を
失ったもの以上に
強くしたようだ

そして
寝床を失った
我々は

セイアの車に
積んであったテントに
泊まることになった

……
幸か不幸か、

奔走してて
気が紛れてたけど

起きてると
ムラムラするから
もう寝よう

おやすみ
おやすみ



すや……

ヒトツミは
私を永遠に
守ってくれるよ

斯くの如く

何もかも
想定外のこの状況

ここでただ
寝て過ごす私では
あるまいよ



実に無駄のない
潜入

誰か
呼んだか、
「シーフ王」の
面目躍如と
いうわけだね



……だと
いうのに、

んか……

これほどまでの
気の抜けた寝顔を
前にしては、

興も何も無い
起こすことすら
憚られるとはね……

潜入の報酬が
この眺めというのは
少しばかり不足だが、

……ついでの
駄賃として、



これくらいは
頂いても――



私に対する、劣情…
その、源泉…♡

んは…♡

重く、熱く、
どろどろした
その情念が、

へはめ…♡

止め処無く
波濤のように

…口淫している
こちらが、
犯されているような
感覚だ…♡

ちゅく…♡

こ、これ以上は
吐精を
促してしまふな…

君をここまでに
させた誓約を、

私自らが
だなんて

そんな、

笑い種とするにも
お粗末な、

のし…♡

けつ、まつ…♡

おおお…♡

も、もう…
止められな…

こ…
女陰…は…

強…
く…♡

きゅう…♡



あと…
少しだけ…♡

許して…♡
ほしい…♡

これは…
私だけが…

私だけが味わえる
甘露なのだから…♡

先生…
もつと…
ん♡

もつと私を
欲して…♡
焦がれて…

結果、
獣に…♡
けだもの

その身を…
塞いだとしても…

ああ…
それで、

ふんやう秤は
均衡を…
得るといふのに…♡

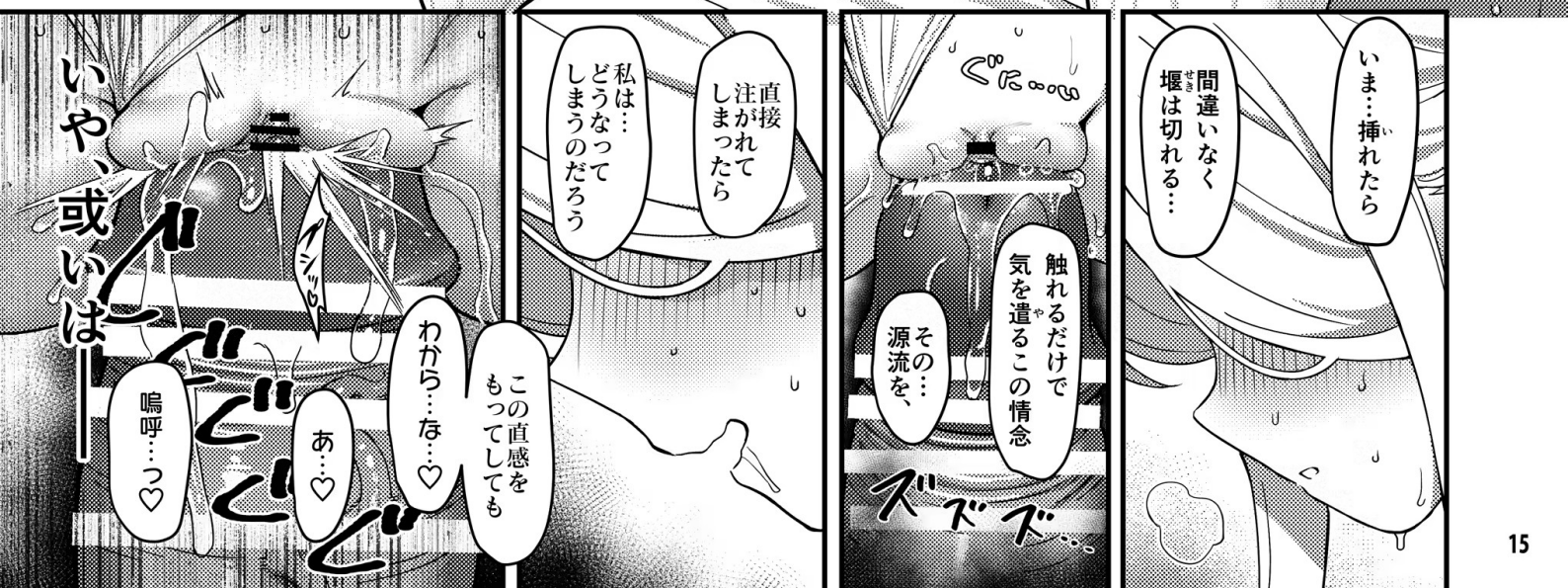
尤も
君は、

知る由も、
ないのだろうけれど

あ…

すり…♡
すり…♡

すり…♡
すり…♡



いま…挿れたら

間違いなく
堰は切れる…

触れるだけで
気を遣うこの情念

その…
源流を、

直接
注がれて
しまったら

私は…
どうなっ
てしまうの
だろう

この直感を
もつてしても

わから…♡

あ…♡

嗚呼…♡

いや、
或いは…

おほし

知っていること
なのかも――

おい

あゝ

か

加

ビズ

LEAK

4



はは：まったく
セイアって：

「お待ちしていましたよ」
なんて…

今日はなんだか
グーバルな、

ふんい、き…

ん?

んん…？

え？



セッSSS
セイアツ!?

何コレ
え、夢!?

なんで私達
セックスしてるの!?

しゃ、射精!?

す
済まない!♡

おは...ようっ♡
せんせ...っ♡♡

ん♡

お♡

ん♡

ん♡

ん♡

私は...
必死に...
君との約束を

そ、
そんな...っ



守り抜いて
きたのにっ...!

それなのに...
この終わり方は、

あんまりだよ
セイア...ツ!!

あと腰止めてっ
出ちゃう...っ

何よりも
ます...
それなの、

君っ♡
らしい♡が、

ん♡

その♡
ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

案ずるには
及ばないよ
先生...っ♡

ん♡

ん♡



この…っ♡
とおい…っ♡

君の精は…
悉く

わ…♡
私の子宮…に

吐き散らして…
いるからね…っ♡

5回から先は
記憶にないが…

せ、
誓約の履行に…
なら、

驕りは…
生じていない…とも…

なるほどね
君が設定した
ルールだもの
君が言うなら
そうなんだろう

だったら当然
わかるよね？

その
理屈を

通すって
ことはき…!!



ずんずん

お♡お♡お♡

つまり、

お♡

ずんずん



『何時いかなる場所でも』

『中出しセックスなら拒みません』って

そっという意味になっちゃうけど!?

いいんだね!?

『なるほど、君は』

『そういう解釈をするのだね』

『私の本意では無いのだが』

『君の希望ならば、仕方がない——♡』

そんな、表情をして……

じゃあ……こんな狭いところ

いる必要もないね……

セイア……

あむ……♡

君は：
認めたんだ

待つ…
くれ…
っ

られ…♡

ひあつ♡

柔らかな
シーツなんて無い
土の上だろうと、

扉も天蓋も無い
空の下だろうと、

私からの膣内射精を
たねつけ
拒否できないことを

もちろん、
それが――

う、嘘……

まだ、
硬い…っ♡

何故先生

抜い、

てー

友が
寝息を立てる、

え

テントの
裏でもー

待つ、

君、ちょ、

は、やっ、
抜い、いっ

なんっ
なんっ
悪か、なっ

そうしたいのは
山々だけど、

なによりー

うっかり
外出ししちゃ
いけないし、

おん



セイアの
ちっちゃい
おまんこが

過去最っつ高に
締まってるせいで、

離して
くれないから

ねっ...!!

スッ



本当に...
どうしようね

誰か
起きてたら...

それとも
セイア、

君なら...
わかるのかな?

わからないっっ♡♡♡

わからないっ♡♡♡



二人は本当に
寝ているのか?

何も...

おまんこ掻き混ぜる音
大きすぎるっ♡♡♡

聞き耳を
立てている可能性は...

本当に...何も...

すぐそこに
ハズミとイチカも...

今射精されたら
絶対ヤバイっ♡♡♡

子宮が
降りきっているっ♡♡♡

識りようが...

こんな姿
見られたら

無い...

——セイア、ちゃん？

愉^{たの}し^{それ}みが

おーい

お
ふ
く
ん

あり

41

11

3000

キ



お

…えっと…

ほ

カ

そりゃあ...さ...?
わたしが...

言えたことじゃ
ないかもだけど...

『ヘイローが
消えてしまうよ』
っていう

その
ジョーク...

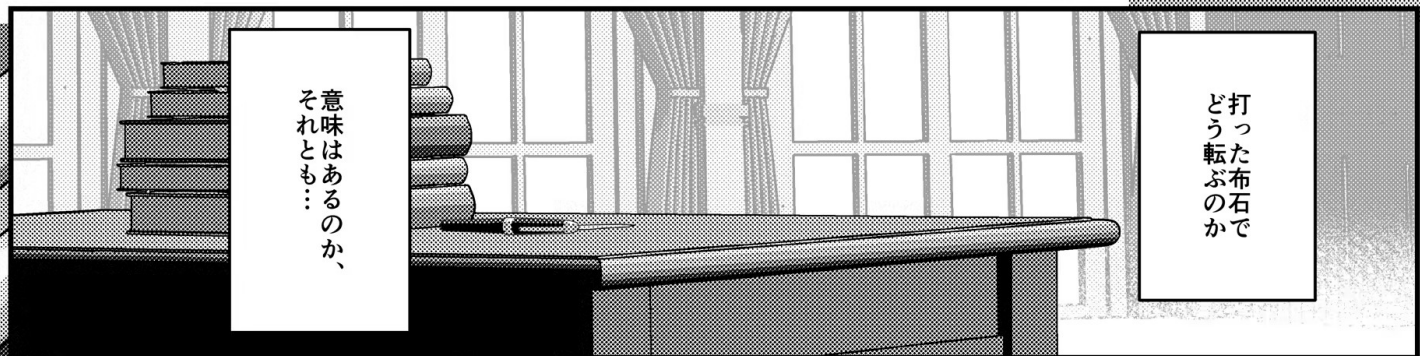
ほんと
反応に困るから、

いい加減
やめてくんないかな...?

おにや...

私は
また...

やってしまった
ようだね...



あとがき

またのんき▼です。▼は発音しません。

本書をお買い上げ頂き、またこんなところまでお読み頂き、まことにありがとうございます。

書籍版では時間もスペースも(心身の余裕も)ありませんでしたので、こちらで少し書かせていただきます。

今回はセイア本です。

誰を描くか悩みに悩み、ノゾミと2択まで絞った際にバレンタインイベントを見直し、「えろ…」となったのでセイアになりました。(自分の中のノゾミ像に不安があったのもありますが今思うと杞憂だったのかも)

しかし懸念点が一つ。ティーパーティー水着の勾わせがあったことです。

アプリゲームにおける別衣装…それも水着となると、そのキャラを描いている最中とはいえ看過することはできません。しかもセイアは今年のはじめの実装で、それまでの病弱なイメージから一変、かなりアグレッシブな一面を持っていることがわかりました。

楽しみな半面、自分の想定している内容をぶったぎるような一面が飛び出してきたらどうしよう…。

7月の中旬、ビクビクしながら描き始めていきました。

そしてブルアカらしいぶにて実装の発表…。兎にも角にも、イベントストーリーと絆ストーリーを見てからでないと始まりません。幸いなことにどちらも描こうとする内容と齟齬があるものではなく(内容もとても良かった)、イベントにおけるテント泊という新たな要素も面白そうでした。

ただ時間も時間、7月下旬からのテコ入れなんて普段なら諦めるところです。(去年もASMRとかあったけど)

しかしセイアは他のティーパーティー二人と違い実装がひと足早く……そして今回は万博の影響で夏コミ開催が一週遅く……。締切も去年より少しだけ長い…。

やれと言われているような気がしました。

心を決め半日かけて表紙を水着衣装に直し原稿を再開、なんとか出すことができました。

此处で言うことでもないので、仕事、プライベート両方で大きく心を乱されることが続いたのも相まって大変に情緒不安定な24pになっているかもしれません。

前回の「伊ナ落」を描き終えたとき、次はシンプルな本にしようと思っていたのですが逆を行ってしまいました。次回に持ち越しということでひとつ…。

次は冬になるかと思いますが、いつもと変わらずその時期に一番描きたいものを描くことと思います。よろしければまたお付き合い下さい。

もし、今作がお気に召しましたら過去作品も見ただけだと幸いです。

恥ずかしながら自分は好みがはっきりしており、それゆえ作品の幅は広くはないのですが、一作が良ければほかも概ね大丈夫なのではないかな…と思っております。

表紙デザインは恒例の柊椋先生(@hiiragiryu)です。

情緒不安定なこちらの進行にも関わらず手際の良いで対応本当に助かりました…。

また、この本とは直接関係ないのですが会場限定本のデザインも速攻で仕上げて頂いており本当に頭が上がりません。デザイン自体も素晴らしく、いつもありがとうございます…！

(今回、柊先生の出される新刊にてムツキのイラストを寄稿しております。良ければこちらも是非！)

ふだんは商業イラストを色々やっているのでそっちも見てもらえると嬉しいです。

今回までの自分の作品を気にいって頂けたなら、こちらも何卒応援の程…！

情報はtwitter(X)等で確認して頂ければなと。

では、また機会があれば。

2025年8月18日
またのんき▼

差し支えなければコメントやtwitter(X)等誌名付きで感想を呟いてもらえればそれ以上の喜びはありません。「よかった」だけでも。次の作品の活力になります！ほんとに直接私宛でなくとも勝手に見ますのでそこは何卒ご了承ください…。
※twitter(X)はサーチバン等で見逃してしまう可能性もございます。

📖 #のんきブック #誓ア約